

来年まででタナ上げ

空転した陸別 町立病院問題

十五日から休会中だった臨時第一回の陸別町議会は二十三日午前十時すぎに再開して全員（欠席は佐々木議員）による決算特別委員会をひらき、委員長に渡辺副委員長に矢野の阿部議員を副委員長に選出された。阿部議員は、研究学園都市と別個が至当で足寄には両手をあげて賛成するが、陸別の土地へ寒地研究所をおいて悪くないのではないかと、杉田町長 寒地研究所は道の三期計画にあり、たま

川と北見紋別と陸別が名乗りあげている。西野議員もつと積極的に向いてデータをつかみ関係機関へ提出すべきだ誘致体制に期成会が必要でないか、研究学園都市と別個が至当で足寄には両手をあげて賛成するが、陸別の土地へ寒地研究所をおいて悪くないのではないかと、杉田町長 寒地研究所は道の三期計画にあり、たま

たま学園都市のなかへ設置することだが、陸別町は独自に町をあげての期成会が必要で、各メーカーの資料を整えて期成会を発足させたい。佐々木助役 久保田鉄工の副社長にあり、日野関係東洋工業とも連絡している道へは二十日に提示したなどの協議があつて病院問題にうつりました。

最終判断を議会に一任

はじめに杉田町長が「十四日に審議して頂いたが、各氏連名による統合陸別後の上陸別小学校の校舎、設備を地域の福祉施設に転用をとの陳情について、総務委員会（渡辺委員長）から「陳情事由は諒解し、地域住民の社会福祉施設として整備し転用するにあたり地域住民の要望等について充分協議のうえ適切な措置を講ずることを望む」との審査報告があつて採択しました。

はじめに杉田町長が「十四日に審議して頂いたが、各氏連名による統合陸別後の上陸別小学校の校舎、設備を地域の福祉施設に転用をとの陳情について、総務委員会（渡辺委員長）から「陳情事由は諒解し、地域住民の社会福祉施設として整備し転用するにあたり地域住民の要望等について充分協議のうえ適切な措置を講ずることを望む」との審査報告があつて採択しました。

寒地研究所 誘致を確認

このあと協議会にうつして国立寒地研究所の誘致について報告入り。佐々木助役 支庁、道の考え方は研究学園都市に結びつけていくに合致しない。協議会で議決しており研究学園都市とは別にやり、いままでの資料をあつめたい。竹内議長 各代議士に陳情しており、近く十勝総合開発期成会にあげたい、旭

◆一般会計繰出(48年から)

負担金	五、四八〇万円
借入金	四、一六三万円

◆このご試算

病院の場合(内、外科)	入院25名、外来80名で
入院40名、外来90名で	一、六二五万円の赤字
入院40名、外来90名で	一、一九九万円の赤字
診療所の場合(内、外科)	入院19名、外来60名で
一、五一八万円の赤字	内科のみの診療所の場合
入院19名、外来80名で	五六一万円の赤字

祝賀式典 盛大に



祝賀式典 盛大に 祝賀式典 盛大に

祝賀式典 盛大に 祝賀式典 盛大に

池尻議員 病院を再建するなにもない、審議するものがない。杉田町長 収支のバランスをとるには入院六十名、外来百五十名を想定せねばならない。早坂議員 ウツカリ決めれば飛んでもないことになり、議長はなにか考えているか。

休診の場合の責任追及

杉田町長 招へい医師は秘密の公表はさけない、みなさんの決定に従い最善の努力をしたい。早坂議員 外科より歯科が一番苦ばれる、中国との政情不安から台湾からの志望者が多い、やる気があればよく呼ぶ段取りをした方がよい、口先だけでなく実行すべきでないか。

議長職権で突然の閉会

松台副議長 病院再建計画が道も国も通らないと思ふのか、いまの段階で医師は間に合わない、空白の半か月は重大でどういう責任をとるか。杉田町長 再建計画は入院六十名、外来百五十名にないので信用して頂けるか不安感がある、休診しないと考えて医師の獲得に努力する。松台副議長 再建計画は黒字でなければ認めないの、当初から黒字はあり得ない、一般会計から繰り出せばよい、町長のハラがあればよい、医師は努力するというのができないならば責任をとるか。杉田町長 医師は真剣に努力する。坂井事務局長 病院には再建計画を樹てなければならぬ、相当広範囲の資料がある、どこをつかってもよい計画でなければならぬ。一月は要する、根拠は地

肉牛は絶対有 望 足寄で講習会

足寄町開拓農協(遠山謙組合長)では三月一日に日清製粉中央研究所の安部彰主任研究員を招き、林業会館で組合員約百名が参加して肉牛飼養技術講習会をひらきました。この席上で安部氏は「昨年は雄牛による牛肉は一六六%伸び、農産物なら大暴落のところ返って高値なのは、生活の向上と世界的な牛肉不足のためで、これから肉牛が絶対有希望であることを強調しました」

本別町の長年にわたつて運動をつづけてきた養老老人ホームが年度末のギリギリに突如として決定。

これは本州でのワケが余つて暮になつて厚生省から道に割り当てがあつたものに

陸別町にとつて当面最大の焦点であつた病院問題は、竹内議長による「強行閉会」三日後の議員協議会で一年タナ上げによつて当座の混乱をさけた形。

なにしての超満員の傍聴席は地区労働下の組合員や主婦が占められていて、診療所に格下げ運動をつづけてきた養老老人ホームが年度末のギリギリに突如として決定。

主筆の室

なにしての超満員の傍聴席は地区労働下の組合員や主婦が占められていて、診療所に格下げ運動をつづけてきた養老老人ホームが年度末のギリギリに突如として決定。

足寄町への学園都市誘致は「阿寒」とはいつても町の内茂尾寄地区が大平で隣接の阿寒、津別の両町と提携するのは立地上当然ながら、十勝管内からは総スカンの状態。

それだけになんとしてでも、のデツカイ誘致運動を成功させなければ、小林町長大滝議長以下、面々は「イト満々で東奔西走中」

園営トマム・小利別地区パイロット(農用地開発)事業の竣工式は二十二日午後一時二十分陸別小学校校体育館に、町内外の来賓関係者など約三百名が出席してひかれ、佐々木助役の長、竹内議長、岡田農協組長、坂井事務局長、両議員を招き、各方面から祝賀があつて、受益者代表の高橋誠氏の謝辞で式をとり、祝賀に入り、開拓事務所関係四十七名(えぞ木やりの郷土芸能の史代表河本泰氏)工事施工二

祝賀式典 盛大に 祝賀式典 盛大に

議長職権で突然の閉会

松台副議長 病院再建計画が道も国も通らないと思ふのか、いまの段階で医師は間に合わない、空白の半か月は重大でどういう責任をとるか。杉田町長 再建計画は入院六十名、外来百五十名にないので信用して頂けるか不安感がある、休診しないと考えて医師の獲得に努力する。松台副議長 再建計画は黒字でなければ認めないの、当初から黒字はあり得ない、一般会計から繰り出せばよい、町長のハラがあればよい、医師は努力するというのができないならば責任をとるか。杉田町長 医師は真剣に努力する。坂井事務局長 病院には再建計画を樹てなければならぬ、相当広範囲の資料がある、どこをつかってもよい計画でなければならぬ。一月は要する、根拠は地

肉牛は絶対有 望 足寄で講習会

足寄町開拓農協(遠山謙組合長)では三月一日に日清製粉中央研究所の安部彰主任研究員を招き、林業会館で組合員約百名が参加して肉牛飼養技術講習会をひらきました。この席上で安部氏は「昨年は雄牛による牛肉は一六六%伸び、農産物なら大暴落のところ返って高値なのは、生活の向上と世界的な牛肉不足のためで、これから肉牛が絶対有希望であることを強調しました」

本別町の長年にわたつて運動をつづけてきた養老老人ホームが年度末のギリギリに突如として決定。

これは本州でのワケが余つて暮になつて厚生省から道に割り当てがあつたものに

主筆の室

なにしての超満員の傍聴席は地区労働下の組合員や主婦が占められていて、診療所に格下げ運動をつづけてきた養老老人ホームが年度末のギリギリに突如として決定。